MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより
VOL. 64（年４回発行）
■発行日　平成24年６月30日
■発　行　三春まちづくり協会
■編　集　三春まちづくり協会広報部会
三春町字大町178（旧公民館内）
TEL／FAX（62）3988

〝復興元年、安全・安心のまちづくりをめざして！〟
―平成二十四年度三春まちづくり協会定期総会を開催―

去る五月八日、三春まちづくり協会の定期総会が開催されました。総会には、鈴木町長も出席されご挨拶をいただきました。幕田協会長を議長に、平成二十三年度の事業報告及び収支決算報告に続いて、平成二十四年度事業計画及び収支予算の審議が行われ、一年間のまちづくり活動が満場一致で決定されました。

役員改選期にあたり、各区長や団体役員等の異動を受けた協会役員及び各部会員の新しい体制も決まりました。

【鈴木町長あいさつ要旨】

「昨年は、震災・津波・原発事故更に避難者受入れ等々大変な年であったが、町民の皆さんの協力で何とか乗り切ってきた。

平成二十四年は復興の年、最大の課題は全町除染。安全・安心のまちづくりのため、みんなで知恵を出し合って進める事が必要。

復興春まつりを富岡・葛尾・三春の共同で企画、実施し、力を合わせ成功させた。苦しくても頑張っていく意気込みが感じられた。

自分たちの地区は、自分たちでつくるという信念で取り組んでいる三春まちづくり協会の活動に敬意。日頃の行政事業推進に対する協力に感謝すると共に、今後も町民のみなさんの理解と協力による協働の成果に期待している。」

【幕田協会長あいさつ要旨】

「平成二十三年度協会事業活動は、震災・原発事故の影響で一部変更を余儀なくされたが、無事終了することが出来た。

新年度は、桜まつりも旧に復し、復興春まつりも盛況裏に行われるなど明るい兆しが感じられるので、各部会の理解と協力を得ながら安全・安心のまちづくり推進のため協働に取り組む。」

主な事業項目と新役員、各部会体制は次の通りです。

全体事業

1 クリーンアップ作戦の実施
福島原発事故による全町除染計画との関連で昨年に続き中止とした。

2 城山公園へアジサイ植栽
町の城山公園整備計画事業によるアジサイ植樹及び管理を実施する。

3 研修会の開催
○住みよいまちづくり活動を推進するため、町民参加の研修会を開催する。

①全体研修
まちづくりの課題について、講師を招いて研修を行い共通認識と理解のもとに解決に向けて活動を展開する。

②部会研修
部会内学習並びに各部会の計画に基づき、地域住民の参加を呼びかけ、町内探訪・探査視察を行い実態について理解を深める。

③視察研修
まちづくり先進地を視察し、委員の見識を広めると共に今後のまちづくり活動に役立てる。

4 懇談会の開催
①三春地区まちづくり懇談の開催。
②まちづくりの中心課題について、町会議員と一堂に会して意見交換を行う。
③毎月第２水曜日、定例出前懇談会を開催する。

5 町民球技大会への助成
健康づくり・地域づくりを図る町民球技大会に各町内会が参加できるよう援助する。

6 自主防災事業への助成
各町内会の自主防災活動の活性化を図り、防災訓練の実施等により非常災害時の備えを万全にするため助成を行う。

部会事業

生涯学習部会
夢を持ち豊かな心が育つまちづくり活動
①児童生徒の安全を守る活動（通年）
②三春小学校放課後まほらっ子教室への協力
③子育て支援についての理解を深める活動

環境部会
誰もが暮らしやすいまちづくり活動
①環境についての勉強会
②環境基準（ＩＳＯ・１４０００）を取得している町内企業等の視察研修

福祉部会
元気で健やかに暮らせるまちづくり活動
①ふれあいの集いの開催
②敬老会への参加
③地域ぐるみの健康づくりの実施
④三春町健康づくり推進員活動
⑤施設ホーム視察

地域部会
みんなが築くつながりのあるまちづくり活動
①散策路踏査
②案内標柱設置・整備

街並部会
地域の特徴と資源を生かした活力あるまちづくり活動
①石柱の設置（二か所）
②第四回石柱・拓本ラリーの実施
③お城山公園整備計画事業への参加
④視察研修（宮城県登米市）

広報部会
情報を共有し協働するまちづくり活動
①協会活動を広く町民に知らせる広報「三春わが街」発行（年四回）
②随時発行チラシによる「定例出前懇談会」など協会各部会計画の催しなどについての開催周知、案内

町からの要請により、三春まちづくり協会長が推薦し委嘱された方々は、次のとおりです。

○学校運営協議会委員
橋本　紘毅さん
○放課後子どもプラン推進運営委員
橋本　紘毅さん
○三春町生涯学習を進める町民会議委員
白石　武仁さん
○三春町明るい選挙推進協議会委員
鈴木　美代さん
○三春秋まつり実行委員会委員
村田　紀佳さん
○三春交流館運営協会幹事
末永　健二さん

三春まちづくり協会役員

協会長	幕田勝寿
副協会長	村上弘久
	永井雄明
監事	二橋文弘
	橋本奉明
大町委員長	村上信弘
中町委員長	上樫奉三
八幡町委員長	橋本明
荒町委員長	吉田清
北町委員長	降矢通英
新町委員長	川名清
八島台委員長	大津茂
各部会長　６名	
専従嘱託員	栗原玲子

部会名	氏名	推薦団体
生涯学習部会	◎橋本紘毅	北町
	○千葉喜好	八島台
	宇野澤恵子	大町
	橋本征雄	新町(区長)
	佐久間善子	民生児童委員
	橋本寛	荒町
	佐藤佳亮	八幡町(区長)
	白石武仁	民生児童委員
	新野恭朗	三春中ＰＴＡ
	吉田将史	三春小ＰＴＡ
環境部会	◎鈴木功	八島台(区長)
	○橋本啓松	八幡町
	鈴木美代	中町
	吉田位次	北町
	村上喜代治	大町
	服部三四三	荒町(区長)
	佐久間佳子	新町
	佐久間とし	町婦人会
福祉部会	◎田部敬子	荒町
	○鈴木矩男	八島台(区長)
	吉田トモ子	民生児童委員
	久保博	民生児童委員
	佐久間眞	民生児童委員
	吉田イセ	北町
	佐久間貞治	大町
	鈴木節子	八幡町
	末永健二	老人クラブ
地域部会	◎松本一	荒町
	○村田紀佳	八島台
	渡辺昭雄	八幡町
	関弘子	大町
	山崎正	新町
	千葉順子	北町
	小松功	消防
街並部会	◎佐久間保一	八島台
	○中村利孝	中町
	渡辺義広	中町
	渡辺勝雄	北町
	根本忠	新町
	橋本信子	大町
	佐藤次男	民生児童委員
	武像ヒサ子	民生児童委員
広報部会	◎湊昭一	新町
	○小川秀悦	八島台
	橋本俊宏	中町
	永井久	中町
	庭山トク	大町
	吉田仁一	北町
	村越清助	八幡町(区長)

◎部会長　○副部会長

―シリーズ―《初心に聴く》①

三春まちづくり協会の定期総会が開催され新年度の役員・部会員が選任され、新たな協会体制がスタートしました。

三春まちづくり協会の組織は、各区長・各民生委員に、消防団・婦人会・老人会・PTA等の代表者いわゆる「当職制」と各字から推薦された委員で構成されています。任期は2年、再任は妨げませんが、本来の職の任期に制約されます。

今年も、多くの方々が新たに三春まちづくり協会のスタッフとして加わり、協会運営にご協力いただくことになりました。本号では、新任委員の方々から『まちづくり協会活動に携わる初心』をお聴きし、協会へ新たな息吹を感じさせていただくこととしました。

環境部会　橋本　啓松さん

八幡町地区より推挙され、環境部会員と成ったが、何を、何ができるのか思い当る事柄はなかった。初会議にて諸先輩の話に納得し、最初は誰もが新人だとの言葉に安堵し、自分も一緒に活動しようと思えた。

現役仕事人時代、環境について勉強したり、取組んだ事は何もなかったと思う。一部の担当者の努力で美化され、整理整頓した職場が作り出された様に思っていた。

住環境に於いては各家庭の対応にまかされ奥様方の思うままに進んでいた事ですが、大地震・原発事故と生活様式を変更しなければと、思う事態が発生し、今後何年で元の状態に戻れるか、誰にも見えない昨今、協会・部会員として、自分に与えられた時間は決して十分とは思えないが、先日実施された城山公園アジサイ植栽時に多くの協力者が集まった様な事業まれ、町三春の街に沢山生なり、楽民の感情が豊かに様、自分しい生活が送れる努力し、なりに勉強し、又と思う。協力して行きたい。

環境部会　佐久間　としさん

この度、三春町婦人会の代表として三春まちづくり協会環境部会の一員に任命いただき、部会の皆さんと今年度の事業計画を立てました。特に、環境部会は原発事故によって発生した放射線（昨年十一月から十二月にかけて各字ごとに除染作業をおこなった）の残量を計り、不安を取り除いて少しでも元の生活に近づけようとの計画です。

又、先日は、お城山のアジサイ植樹に参加しました。当日は、約百七十名の参加者だったそうです。皆さんの協力のもと短時間でお城山の土手にアジサイの木を植えることが出来ました。

来年はしっかりと土手に根を付け、ひと回り大きくなったアジサイを眺めることが出来ることでしょう。

私も、皆さんに少しでも近づけるよう頑張りたいとおもいます。

第四十九回出前懇談会
「平成二十四年春の観光」

六月十三日、三春交流館まほら会議室で、第四十九回出前懇談会が開催され、三春町役場産業課観光グループ・山口グループ長と三春町観光協会・渡辺事務局長から、今年の春の観光についての説明がありました。

滝桜開花状況について

全国的に開花が遅れたが、滝桜も平年より遅いペースで、咲き始めは前年より九日も遅かった。開花から八日目には散り始め、十日目に葉桜となり、観桜適時期間も九日間（平成二十三年は十六日間、平成二十二年二十三日間）と極端に短かった。

四月前半は気温が低く、後半も不安定な天候だった。二十度を超えた日は八日間と少なく、二十四日からようやく暖かくなった。

対策期間観桜者数

二一万二六七七人（中学生以下および葉桜期間来場者等の推計も含む）。昨年より六～七万人多く、観光客数が戻る傾向にある。

観桜料集計

五四七九万九九八四円（二十三年は震災のため観桜料は無し、応援募金三四四〇万〇六九九円。二十二年度は六九九二万二二八八円）

臨時バス、無料シャトルバスの運行

開花が遅れたため、三十日まで延長して運行した。臨時バスは延べ十七日間、無料シャトルバスは平日も含め、延べ十三日間の運行となった。

ライトアップ

開花が遅れたことから三十日まで伸ばし、十七日間実施した。

三春桜まつり（四月二十一日）

弦哲也、美桜かな子、瀬口侑希の三人の三春滝桜観光大使が一同に会し、滝桜前と「まほら」でコンサートを行った。

東北夢の桜街道

第一回　桜の札所壱番・三春滝桜『美しき桜心の物語』の語り会（四月二十一日）

滝桜で開催。

東日本大震災復興支援事業

三春春まつり（五月五日）

三春中心市街地で開催。

以上の説明のあと、会場からの質問、意見交換の時間をとり、閉会となった。

※三春町異業種交流会から「二〇一二年滝桜観光のまとめ」という資料提供があった。主な内容は次の通り。

・開花時の渋滞対策、町中案内、障がい者への配慮、食事の場所、総合案内、トイレの改善などの提案。

・桜が咲いていない時期のことを考慮すると「観桜料」という名称ではなく、「協力金」がふさわしいのではないか。

※懇談会の資料は三春まちづくり協会事務局にあります。

協会活動だより

アジサイ植樹

最終年を迎えたお城山のアジサイ植栽

五月二十六日、第四回城山公園アジサイ植栽作業が行われました。これは、お城山を四季をとおして親しめる三春のシンボルとするため、町が進める城山公園整備計画事業の一環で、四回目の今年が最終年となり、植栽が完了しました。

街並部会

石柱二基を新に設置

街並部会では、町内に伝わる地名の古称や由来等を石柱に標し設置しています。これまでの二十九基に加え、新たに次の二基を設置しました。

【師範場（しはんば）】

○町道清水～赤坂ルート地内（現・師範場調整池付近）

・三春城下絵図によれば、木戸外四半場とも呼ばれ現在の師範場となった。

【四軒丁（しけんちょう）】

○県道飯野・三春・石川線新町二二九番地付近

・四軒丁には、三春城主秋田家の時代に半農足軽が住んでいた長屋があった。

編集後記

この度、縁あって、まちづくり協会に、二年間お世話になることになった。そもそも、これまで恥ずかしながら、「まちづくり」なるものに関心を抱いたことは、あまり無かったといってもいい。この機会に考えても、漠然として抽象的な概念しか思い浮かばない。町の事は、全面的に行政に委ね、我々一般市民は、機関の決定に従っておけばよい。そんな乱暴な考えが、支配的であったのだから。そんな筆者が、このような団体に名を連ねたのは、神様の戒めか？▼近年は、責任感のない個人主義が蔓延り、人と人との関わりが薄れ、「まち」というものが形骸化しているように感じる▼筆者は、もともと実家が商業を営んでいたこともあり、好むと好まざるとに関わらず、地域活動には微力ながら関与してきたことには間違いなかった。結果、それが、人格形成や年齢を超えた人間関係の構築などに、大いに貢献したことは事実で、その事は、新規の消防団勧誘の時などの常套句としてよく使わせてもらった▼つまり、「まちづくり」とは、受動的に第三者にお任せするよりも、能動的に携わってこそ、自分自身にプラスに転じるのではないか。とりあえず、そのように結論づけて、筆をおくことにする。（吉田）

コミュニティだより
「三春わが街」第六十四号
発行日　平成二十四年六月三十日
発　行　三春まちづくり協会
編　集　三春まちづくり協会
広　報　部　会
三春町字大町一七八
（六二一）三九八八